

奄美小 学校だより



奄美子

令和2年11月発行

校訓…強く 正しく 最後まで

児童数 男子 238 人 女子 198 人 計 436 人

(R2.10.21 現在)

心を磨く取組！ 学校と家庭が両輪となって!!

校長 吉峯 進

11月の「校内読書月間」の取組の一環として、私も11月18日(水)の朝活動の10分間で、校内放送を使った読み聞かせをしました。現在の子供たちの様子等を考え、少しでも子供たちの心の琴線に触れてほしい、との思いを込め、『あいさつできるよ』と『ぼくはにんげん』の2冊を読みました。学校の図書室の本は、子供たちが日頃から目にしている感動が小さいだろうと思い、隣接する県立奄美図書館に行って選定しました。読み聞かせ後、「“あいさつ”ってとても大事だと思いました。」「これからもきちんとあいさつをしようと思います。」等々、特に低学年の子供たちが感想を聞かせてくれ、嬉しいでした。

さて、保護者の皆様は、「親子20分間読書運動」というのを耳にしたことがありますでしょうか。これは、児童文学作家の 椋 鳩十（久保田 彦穂）さんが、鹿児島県立図書館長を務めていたとき、「教科書以外の本を子供が20分間くらい読むのを、保護者が傍らに座って静かに聞く」運動を提唱し、その後、全国に広まった読書啓発運動です。私は以前、この運動を記録した古い白黒の16ミリフィルムを視聴したことがあります。丸いちゃぶ台を挟んで親子が対峙し、本を読む子供の声を母親が静かに聞き入る。子供は母親に聞かせようと懸命に読み続け、母親は子供の成長を確かめるかのようにじっと見つめる。たったそれだけの姿に、親子の絆や良好な関係性を見出すことができる映像でした。

今後、各家庭においても「今日はどんな本を借りてきたの？ お母さんは、今から夕ご飯を作るから、その間、本を読んで聞かせてよ！」「今夜は、しばらくテレビを消して、〇〇の本読みを家族全員で鑑賞してみようか！」などに取り組み、その後、お互いに本の感想等を述べ合ってみてはいかがでしょうか。特に毎月23日の「あまみ子ども読書・新聞の日（子どもと一緒に読書の日）」には、読書で子供たちの心を開き、親子の会話を広げていきましょう。

また、12月は、4日(金)から10日(木)までが「人権週間」となっています。学校では、1日(火)から7日(月)までを、「みんななかよし週間（校内人権週間）」として設定し、人権標語の取組や人権に関する授業等を実施していきます。

学校が人権教育で大切にしていることは、子供たちの人権感覚（人権が守られていることを感知し、これを望ましいと感じ、反対に人権が侵害されている状態を感知し、これを許せないとする感覚）を磨き、人権意識（人権が大切にされていることを肯定し、逆に侵害されていることの問題性を認識して人権侵害を解決せずにはいられないとする意識）を高めることにあります。学校での人権教育の取組は、全教育活動を通じて行いますが、子供たちに確かな人権感覚を身に付けさせるためには、学校と家庭が同じ歩調で人権教育に取り組んでいく必要があります。保護者の皆様もこの機会に是非、お子さんの人権を大切にしているか、大人が人権を大切にしているモデルとなっているか等を点検し、各家庭で人権について親子一緒に考えてみてください。

一校一改善「1日1回以上、自分と友達に3S（さすが、すごい、すばらしい）」

地域が育む「かごしまの教育」県民週間（11月1日～11月7日）

例年のとおり、今年も多く保護者・地域の方に来校していただき、子供たちの頑張る姿をご覧いただきました。授業の自由参観や給食試食会を実施し、学校の様子を少しでも分かっていただけたものと思っています。上学年児童の啓発ポスターや標語を作成し、育成会長様には地域の掲示板等へ掲示もお願いしました。多くの皆様の御理解・御参加に感謝いたします。今後とも本校への御理解と御協力をお願いいたします。参加者の感想等を次のとおり集約しましたので、ご紹介いたします。

【授業参観】

- ・ 子供たちの理解度を尊重した授業構成がすごい。自分の考えを述べる機会が多い。
- ・ 友達と楽しそうに過ごしている。子供も先生も元気で、こちらまで元気をもらった。
- ・ 右側通行も守れていて指導が徹底されている。 ・ 普段の様子が見られてよい。
- ・ すれ違うときにあいさつしてくれてうれしかった。
- ・ 一人一人を気にかけて指導を行っている。先生は大変だと思うが。
- ・ 大きな画面を使つての授業がすごい。支援の先生も有り難い。
- ・ 島唄や島の踊りを次世代につなげてほしい。 ・ 伸び伸びした心を育ててほしい。
- ・ 今後も今のように、子供大雅楽しい学校生活を送れるよう期待している。
- ・ いじめのない学校、子供と対話してくれる先生
- ・ 子供たちが安心して学習活動ができること。休み時間・昼休みも安心して過ごせる環境
- ・ 様々な課題を抱える児童への多様な支援
- ・ いつも先生方には学校での様子など教えていただき感謝している。
- ・ 人と話すことで自分の意見がより深まるという体験をさせてほしい。
- ・ 各行事を参観する機会を定期的に実施していただきたい。
- ・ 高学年になると1クラスの数が増えるため、一人一人に目を向けていただけるか不安を感じる部分もある。（いじめ・学習理解度など）

【学校への期待すること】



また、全学年の時間割や教室配置図について、「事前に配布してほしい」との意見がありましたので、来年度はその方向で進めていきたいと思っております。たくさんの御意見や御感想をありがとうございました。

第2回学校保健委員会

11月5日（木）、大和診療所の 小川 信 所長をお招きし、「新型コロナウイルスについて」と題して講話をいただきました。子供は軽症でうつりにくい傾向があるとしながらも「3つの『できること』」として

- 1 手洗い
- 2 せきエチケット
- 3 かぜなら休む



をお話しされました。また、症状が出る2日前から人にうつす危険があるとも話されました。これからの生活に役立つ講話でした。参加された皆さんも満足されたことと思います。

さて、お子様の学校でのマスク着用はできていますか。全国的に学校でのクラスターの発生は少なく、前述の通り、子供はかかりにくいとはいいますが、教室には多くの児童が在籍し、グループでの話し合い活動も進めています。換気や身体的距離の確保などに努めてはいますが、皆さんの命を守る、安全を守る観点からも、ぜひともマスク着用の徹底へ御協力をお願いします。

里山組

赤い羽根共同募金

児童会の取組で
23,419 円の募金がありました。一人一人の善意に感謝します。

地域貢献ボランティア

本校保護者でもあります兼島治之さん（3年）ら里山組の方々が、4階校舎裏土置き場の整備作業を行ってくださいました。土の運搬や整地などありがとうございました。

12月行事予定

2日（水）委員会活動（代表委員会）

4日（金）校内持久走大会

<スタート予定時刻>

2年男子9:10 2年女子9:20

1年男子9:30 1年女子9:40

3年男女9:50 4年男女10:20

5年男女10:40 6年男女11:00

※ 10～20分程度早まることも予想されますので、御了承ください。

9日（水）クラブ活動

10日（木）保護者面談可能日

12日（土）芸術鑑賞会

16日（水）6年生修学旅行～17日

17日（木）5年生マングローブ体験

18日（金）6年生休養措置日

24日（木）2学期終業式

25日（金）日本復帰記念の集い



